

様式

技術名称	2m ³ 密閉二重構造グラブ浚渫工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	
会社名等	株式会社 小島組	担当者	鈴木 忠順	連絡先	052-691-7080
技術の概要	従来の高濃度浚渫船の出力と浚渫能力に比較し、密閉二重グラブは、グラブを水上まで上下させる必要がないため、作業時間を大幅に短縮化しました。水環境に負荷をかける時間を小さくし、また、作業効率を高め、燃料消費量を低減できるので、温室効果ガス排出量の削減につながると考えられます。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	発表資料	
技術の特徴	<p>☆汚濁拡散を抑えることができます 密閉型なので、施工中の濁りを抑え、生態系への影響を最小限に抑えることができます。掘った土は、グラブ内蔵フラップで揚土パイプへと押し上げ、排土するので、水上でグラブを上下動させる必要がなく、汚濁拡散の心配がありません。</p> <p>☆高い作業効率を実現します グラブを水上へ上下させる必要がないため、作業時間を大幅に短縮化しました。水環境に負荷をかける時間を小さくし、また、作業効率を高め、燃料消費量を低減できるので、温室効果ガス排出量の削減につながると考えられます。</p> <p>☆低騒音による施工が可能です グラブを海底で浚渫のための最低移動のみで、グラブ上下動時の騒音が無く、周辺住民の皆さんの生活への影響を少なくします。</p> <p>☆浚渫に伴う余水を減らします グラブ浚渫なので、ポンプ浚渫に比べ余水が少なく、水処理コストを削減できます。吸引式ではないので、生物の吸い込みもありません。</p> <p>※1 水平掘り機能、GPSによる施工位置管理システムも装備しています。</p> <p>※2 揚土管への圧縮空気注入により、長距離配管搬送も可能です。</p>	その他	<p>・特許使用料は必要ありません。</p> <p>・土質としては、N値5以下、砂分の含有率20%以下の粘性土に適している。</p>		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。